



熊本YMCA活動レポート

Annual Report 2024-2025



Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつき、誰かとつながる。
私ができる、かけがえのない場所。

みつかる

Encounter

つながる

Connect

よくなる

Transform



Community Well-being

コミュニティ ウェルビーイング



Meaningful Work

やりがいのある仕事と雇用環境の創造



Sustainable Planet

持続可能な地球のために



Just World

公正な世界の実現のために

Mission

熊本YMCAの使命

熊本YMCAは、熊本バンドの精神をうけつぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み、青少年の精神・知性・身体の調和のとれた全人的成長を願い、すべての人々がひとつとなるための働きを行います。

1. 共に生きる社会
2. 地球環境の保全
3. 生涯学習の推進
4. ウェルネス活動
5. ボランティア活動
6. 平和な世界

メッセージ

Message from The Kumamoto YMCA



会長 **吉本 貞一郎**

Teiichiro Yoshimoto
President



常議員会議長 **佐藤 通彦**

Michihiko Sato
Chairperson of the Board of Directors



総主事 **伊藤 真太郎**

Shintaro Ito
General Secretary



YMCAの働きを通して、「共感・共有・共同」ができる社会へ

熊本YMCAは、1876年の熊本バンドを源流として1948年に設立されました。

1844年のロンドンにおいて世界初のYMCAが設立された際には、イギリスの産業革命下であり、若者たちにとっては、生きづらい社会環境で退廃的な状況下にありました。その最中に、キリスト教信仰により導かれた、ジョージウィリアムズら12人の仲間が集まり、共に祈り、よりよい社会を創りたいという願いをもって会員運動が始まっていきました。その歴史と伝統は、世界を見つめ、地域に生きる働き人の集まりとし

て、熊本のみならず国内、世界のYMCAを通じた働きへとつながっています。

現代は、不確実性の時代（VUCA）と呼ばれています。若者たちが未来に希望を持ちづらく、退廃的な社会の風潮は、YMCAが創立された産業革命下の時代に戻っているのではないかと感じることもあります。新型コロナ禍を経て、社会が明らかに変化していく現在、YMCAは「みつかる。つながる。よくなっていく。」というスローガンのもと、新しい組織の方向性を社会に発信し、新しい価値を創るための働きを進めてい

ます。そのために、お互いが共感できる場を創り、共有できる良い情報を社会に対して発信し続け、社会に貢献できる共同の場を創ることが、熊本YMCAの使命実現につながると考えています。

私たちは歴史の洞察から学び、未来への希望の種を蒔くという働きを引き続き目指してまいります。世界中で困難にある人たちのことを覚え、ひとりも取り残さない平和な世界の到来を夢見つつ、働きを進めてまいります。2024年度中にお支えをいただきました全ての方に心より感謝申し上げます。

活動報告 Activity Report | International Exchange and Cooperation

国際交流・国際協力

東ティモールの支援

Support for Timor-Leste

東ティモール民主共和国は2002年に独立したアジアで一番若い国であり、経済的に厳しい状況にあります。YMCAでは東ティモールYMCAの活動を通して現地の若者や子どもたちの支援を行っています。熊本YMCAはながみねファミリーセンターと熊本ひがしワイズメンズクラブが中心となり、2012年に交流を開始。サッカープログラムや日本語教育などの活動をサポートしています。これを受け、4月に駐日東ティモール民主共和国特命全権大使のイリディオ・シメネス・ダ・コスタさんが熊本YMCAを訪問しました。熊本YMCA学院の学生との交流では、各学科の代表が授業の内容や特徴を紹介。また、YMCA会員、職員が同行して木村熊本県知事、深水熊本市副市長を表敬訪問し、技能実習生等の受け入れ、若者の交流について協議しました。



駐日東ティモール民主共和国特命全権大使のイリディオ・シメネス・ダ・コスタさんが来熊

ミャンマーのエイズ孤児支援

Support for AIDS Orphans in Myanmar

みなみグローバルコミュニティセンターとみなみワイズメンズクラブが中心となり、2011年から始まったミャンマーモガウンYMCAのエイズ孤児支援では、2015年6月に完成した孤児院を継続してサポートしています。2024年度は、チャリティ祭や、古新聞回収、チャリティどら焼き販売などの活動、募金等により集まった支援金100万円を送金しました。

海外YMCAボランティアツーリズム受入れ

Hosting International YMCA Volunteer Tourism

7月、台湾の彰化YMCAから熊本地震被災地支援のためのボランティアツアーを受け入れました。引率者を含む7名が阿蘇の農園を訪れボランティア活動を行ったほか、熊本YMCA学院の学生らと交流しました。

国際青少年平和セミナー

International Youth Peace Seminar

広島YMCAが主催し、8月4日(日)～8日(木)に開催された第43回国際青少年平和セミナーに、熊本から高校生、専門学校生5名と職員1名が参加しました。今年のテーマは「絆」。「まずは世界に仲間をつくろう」「友だちのいる国とは戦わない」というコンセプトのもと、国内外から32名の若者が集まりました。被爆者証言を聴いた後、平和記念公園や資料館、慰霊碑を巡り、8月6日(火)に平和記念式典に参列。その他、グループディスカッションを通して、平和について考えました。



国際青少年平和セミナー

活動報告 Activity Report | International Exchange and Cooperation

国際交流・国際協力

日韓交流

Japan - Korea Exchange

熊本YMCAと韓国大邱^{テグ}YMCAの交流は1960年代の高校生交流から始まり、現在もユースによる交流や職員研修、役員による交流などを続けています。また、熊本ワイズメンズクラブ等と共に熊本県立盲学校と大邱光明学校の交流支援を行っています。

日韓青少年交流プログラム

視覚に障がいを持つ青少年に国際交流の場を提供することを目的に開催する日韓青少年交流プログラムが第36回を迎えました。2023年は熊本県立盲学校、ユース、熊本ワイズメンズクラブ、YMCA職員合わせて10名が韓国大邱を訪問。この活動が大邱光明学校生徒らの保護者から大反響をうけ、2024年度は大邱光明学校の生徒が修学旅行として10月22日(火)～25日(金)に熊本を訪問しました。大邱光明学校の生徒、教師、新大邱ワイズメンズクラブ、大邱YMCA職員ら総勢32名が、修学旅行内の24日(木)に熊本県立盲学校との交流を行いました。

音楽交流では、熊本県立盲学校アンサンブル部が迫力のある演奏を披露し、続いて大邱光明学校の生徒らが発表。ヴァイオリンアンサンブルが日本のアニメ映画の曲のメドレーや韓国アーティストの曲などを演奏しました。合唱では熊本の生徒も参加し、1つの曲を相手の国の歌詞で歌って交わりました。フィナーレはサンバおてもやんを輪になって踊りました。



熊本YMCA・大邱YMCA役員協議会

10月26日(土)、30回目となる熊本YMCAと韓国大邱YMCAの役員協議会を本館／グローバルコミュニティセンターで開催し、大邱YMCAから9名が来熊しました。

協議のテーマは「Vision2030 Just World 達成のためのユースアクション」とし、広島YMCA国際青少年平和セミナーに参加したユースが発題。セミナーで平和についての学びを深め、グローバルな仲間との関係性を築いたことを述べました。大邱YMCAからは理事長のイチュンギさんが発題し、平和で公正な世界を実現するためには、ユースに正しい知識を持ってもらうための経験が必要であることを述べました。そ

の後の意見交換で、両YMCAとの交流を通してさらなる相互理解をはかり、多様性を深く理解しながら、国際親善を発展させていくことが話されました。



活動報告 Activity Report | Community Services

地域活動・ボランティア活動・募金を用いた支援活動

YMCAインターナショナル・チャリティーラン

YMCA International Charity Run

YMCAインターナショナル・チャリティーランは、障がいのある子どもたちもそうでない子どもたちも共に幸せに生きていける社会をめざして全国で開催され、「LOVE ON THE RUN」をスローガンに多くのランナーやボランティアが参加しています。

第9回熊本YMCA大会は全国大会委員長であり、東京パラリンピックに続いてパリ・パラリンピック競泳（視覚障がい）でもメダルを獲得した富田宇宙さん（熊本YMCA水泳教室の元在籍生）を迎えて開催しました。11月17日（日）、益城町総合運動公園を会場に5人の仲間で2キロを走るグループランに43チーム、2キロを一人で走る個人ランに36名、家族で楽しむファミリーランに11家族、YMCAの幼稚園、幼児園などから16名が参加。ユニークなコスチュームで走る姿もあり、会場は笑顔にあふれていました。



能登半島豪雨災害支援

Support for the Noto Peninsula Heavy Rain Disaster

全国のYMCAは能登半島で2024年1月に発生した地震や9月の豪雨災害を受け、現地での支援活動を行いました。熊本では10月6日（日）に下通アーケードで街頭募金活動を実施。YMCA会員や職員ら86名が協力を呼び掛け、220,167円が寄せられました。また、10月25日（金）～10月28日（月）には熊本YMCA学院の学生6名と熊本YMCA職員2名が災害支援ボランティアとして輪島市を訪れました。富山YMCAで現地の状況や活動内容のレクチャーを受け、輪島市町野町へ。学生たちは色濃く残る災害の爪痕に驚きながらも、土砂の処理や清掃などに携わりました。

ピンクシャツデー

Pink Shirt Day

2007年、カナダの男子学生がピンクのシャツを着ていじめに遭ったことを発端に、世界各地に広まったいじめ反対運動「ピンクシャツデー」。YMCAも毎年、全国のYMCAの各拠点で取り組んでいます。2024年度のピンクシャツデーは2月26日（水）。熊本YMCAではこの日を中心とした1週間をピンクシャツウィークとして、YMCAに通う子どもたちや職員がピンクの服や小物を身に付けて、一緒にいじめや差別について考える機会を持ちました。YMCA熊本五福幼稚園では各クラスでピンクTシャツの形の画用紙に「みんなでなかよくしよう」などのメッセージを書き「いじめのない世界に!」という思いを共有しました。



活動報告 Activity Report | Community Services

地域活動・ボランティア活動・募金を用いた支援活動



ウォーターセーフティー（水上安全）

Water Safety

YMCAでは水難事故が多発する夏の季節を前に、子どもたちを水の事故から守るための「ウォーターセーフティーキャンペーン」を展開しています。熊本YMCAの水泳教室では30年以上にわたり「着衣泳体験」を行い、1995年からは学校、幼稚園などの諸団体へ講師を派遣。毎年延べ2,000名を越える子どもたちを対象に水上安全講習会を実施しています。

また、6月に「みんな泳げる25m運動」と題し、水泳に苦手意識のある近隣小学校の児童延べ150名をYMCAのプールへ招待して特別水泳プログラムを実施しました。最初は顔つげやもぐることで精一杯だった子どもたちが綺麗な姿勢での浮き身や泳ぎにチャレンジしました。

ポニーキャンプ

A Camp for Children with Visual Impairments

48回目を迎えるポニーキャンプを熊本ワイズメンズクラブとの共催で開催しました。視覚に障がいのある子どもたちに新しいことに挑戦してもらい、自信につなげることなどが目的。7月30日（火）～31日（水）の日程で、水俣湯の児海水浴場と熊本県立あしきた青少年の家を会場としました。熊本県立盲学校から5名の児童が参加し、1日目は水俣でボードに立ったままパドルを使って水上を移動するスポーツ「SUP」に挑戦。2日目はペロン船に乗り、一人ひとりが



一生懸命に漕いでいました。熊本YMCA学院の学生や大学生らユースリーダーが参加者をサポートしました。



被災児支援キャンプ

Support Camps for Children Affected by Disasters

8月10日（土）から12日（月）の3日間、阿蘇キャンプを拠点に「あそぼうキャンプ」を開催しました。このキャンプは豪雨や地震で被災した子どもたちのこころのケアを目的とし、10回目を迎えました。今回は熊本豪雨災害で大きな被害を受けた球磨村の小学生17名が参加。リーダーや精神科医や臨床心理士、小児科医やカウンセリング、キャンプの専門家ら24名がサポートしました。子どもたちは阿蘇の小川での「川の生き物捕獲作戦」、ヨガ、ホースライディングなどに挑戦。最終日に行われた「あそぼう宣言」では、子どもたちが将来の夢やなりたい自分を皆力強く宣言しました。

活動報告 Activity Report | Community Services

地域活動・ボランティア活動・募金を用いた支援活動



熊本YMCA定時会員大会

The General Meeting

5月24日（金）、2024年度熊本YMCA定時会員大会を開催しました。本館／グローバルコミュニティセンターを本会場とし、サテライト会場としてYMCA黒川保育園とオンラインでつなぎました。

第1部礼拝、第2部表彰式、第3部報告会に続いて第4部ではグループディスカッションが行われ、「YMCAの仲間（会員）を増やすために私たちができること」をメインテーマに、参加者からYMCAの魅力やYMCAに関わる理由などが語られました。グループディスカッションの意見を受けて、今後、会員増強のための取組みを具現化することを確認。最後にユースボランティアリーダーらによる歌のレクリエーションが行われ、和やかな雰囲気の中、終了しました。

YMCAフィランソロピー協会

Philanthropy

企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が年間を通じた活動を行いました。

おしごとカフェ

8月7日（水）、本館／グローバルコミュニティセンターで「おしごとカフェ」を開催しました。児童養護施設の子どもの「仕事観」や「職業観」を育むこと、地域ぐるみで将来の担い手育成に取り組むことが目的で、県内の児童養護施設など5施設から引率者含めて28名が参加しました。8企業・団体が出展し、子どもたちがグループに分かれて、企業のブースをまわりました。各企業の趣向を凝らした説明を子どもたちは真剣な様子で聞き入り、積極的に質問をする姿も見られました。



年次総会

2025年度（2024年10月～2025年9月）の年次総会を10月11日（金）に城彩苑内の多目的交流施設で開催しました。第2部は「外国籍人材の雇用と育成を考える ～すべての人が輝ける職場づくり～」と題してパネルディスカッションを開催。鶴屋百貨店の張曦冉さん（中国出身）、熊本トヨタ自動車株式会社のグエン マイン フンさん（ベトナム出身）、九州中央リハビリテーション学院の志垣伸太郎さん、株式会社セブン-イレブン・ジャパンから北岡幸子さんをパネリストに招きました。張さんは、熊本におけるグローバル人材の必要性がさらに高まってくると予想。グエンさんは、「外国人向けの企業説明会等を行ってもらえれば今よりもっと熊本の企業を身近に感じる**こと**ができ、良縁でつながることができるかもしれません」と提言しました。

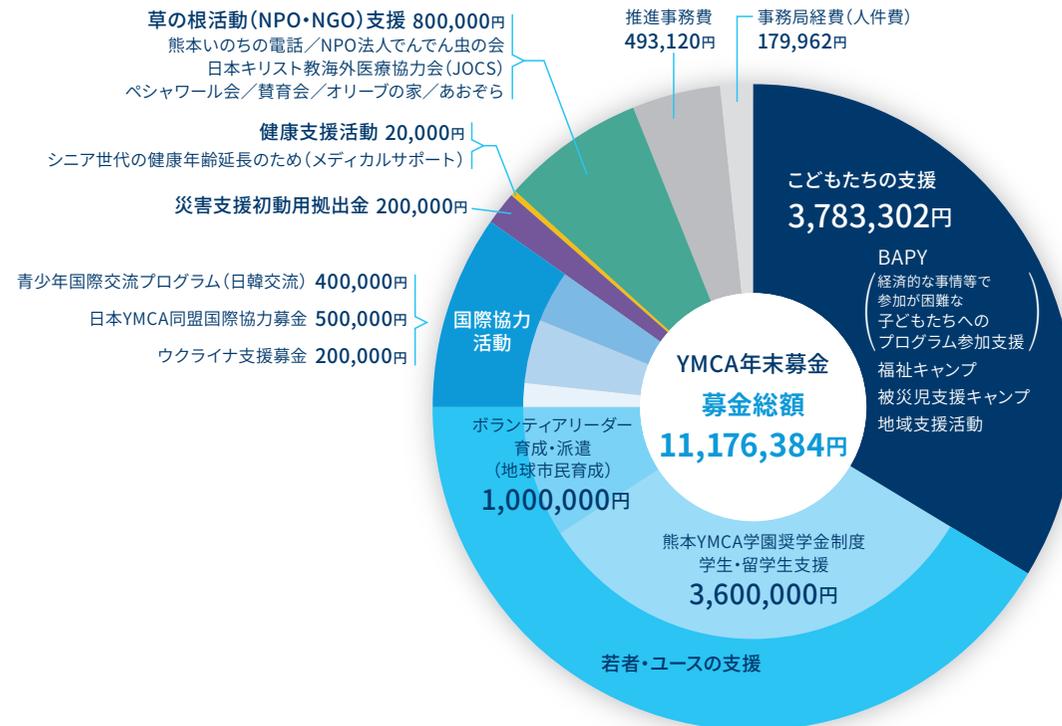
募金活動 Fundraising

希望のある豊かな社会づくりを目指して ～ポジティブネットのある社会へ～

YMCA年末募金

Fundraising Campaign

熊本YMCAは「子ども・若者・国際協力」をテーマに、毎年、年末募金に取り組んでいます。各拠点で募金を呼び掛けたほか、街頭募金、チャリティプログラムなどを行い、2024年11月1日から2025年3月31日まで取り組んだ2024年度は11,176,384円の募金が寄せられました。



YMCA熊本五福幼稚園 募金を持ってきた園児



YMCA祭 前進祭での大鯛どっこい



延べ15会場で行った街頭募金活動



ながみねファミリーセンター クリスマス祝会



むさしグローバルコミュニティセンター デイキャンプ

減免実績 Grants Awarded

■ BAPY基金(通年プログラム)

| 事業部門 | 件数 | 助成額(円) |
|-----------|-----------|------------------|
| ウェルネス | 34 | 1,148,560 |
| 野外教育 | 2 | 18,210 |
| こどもえいご | 4 | 185,440 |
| カルチャー | 3 | 55,680 |
| ぶらっとほーむ | 2 | 512,000 |
| 合計 | 45 | 1,919,890 |

■ BAPY基金(春・夏・冬休み期間中プログラム)

| 事業部門 | 件数 | 助成額(円) |
|-----------|----------|---------------|
| ウェルネス | 2 | 7,100 |
| 野外教育 | 5 | 67,950 |
| アフタースクール | 2 | 20,000 |
| 合計 | 9 | 95,050 |

■ 奨学金・進学支援

| 事業部門 | 件数 | 助成額(円) |
|-------------------------|-----------|------------------|
| 熊本YMCA学院(特別奨学金・留学生進学支援) | 10 | 2,765,000 |
| 合計 | 10 | 2,765,000 |



日本YMCA大会

■ 地球市民育成(ランゲージスクール学生受講料減免)

| 事業部門 | 件数 | 助成額(円) |
|------------------|-----------|------------------|
| インターナショナル | 16 | 572,910 |
| 熊本YMCA学院 学生語学奨学生 | 11 | 482,600 |
| 合計 | 27 | 1,055,510 |

■ 地球市民育成 助成

| プログラム | 助成額(円) |
|------------------------------------|------------------|
| 第55回全国YMCAリーダー研修会 | 312,735 |
| 第43回広島YMCA国際青少年平和セミナー | 267,750 |
| English Camp for Global Leadership | 423,500 |
| 第23回日本YMCA大会 | 163,095 |
| 合計 | 1,167,080 |

地球市民育成の助成利用者の声



ユースボランティアリーダー
阿蘇谷 澪花さん

研修での学びをこれからの活動に活かしたい

11月15日(金)から17日(日)にかけて、国際青少年センターYMCA東山荘で開催された第23回日本YMCA大会に参加しました。「Link! ~[私]、YMCA、世界、そして未来~」をテーマに掲げたこの大会では、様々なプログラムを通して紛争や気候変動、自然災害など世界的な課題に目を向け、「世界YMCA Vision2030」に基づいて、YMCAが今後取り組むべきことや私たち一人ひとりにできることについて考えました。他県のユースやスタッフの皆さんの意見を聞くことで、広い視野を持ち、世界で起きていることを自分ごととして捉える重要性を学びました。この経験を、日々の活動やこれからの生活に活かしていきたいと思えます。



熊本YMCAグローバル事業部
ボランティア
石松 里紗さん

挑戦したい人たちのためにこれからもサポートを

8月に広島YMCAが主催する「国際青少年平和セミナー(ピースセミナー)」に、12月に全国の中学生・高校生が国際青少年センターYMCA東山荘に集い英語のみで過ごすEnglish Camp for Global Leadership (ECGL)に参加しました。

ピースセミナーやECGLで講師の方が『世界のことを考える若者がこれだけたくさんいるなら、未来は明るい』とおっしゃっていたことが印象に残っています。私は募金による補助があったので参加できました。これからも挑戦したい人のためにYMCAのサポートが続くといいなと思っています。

BAPY基金(参加費減免制度) “BE A PARTNER OF THE YOUTH”

公益財団法人熊本YMCAはすべての子どもたちがYMCAのプログラムに参加できるように、BAPY基金(参加費減免制度)を設けています。ひとり親世帯や、特別児童扶養手当受給世帯等、YMCAのプログラムに経済的理由により参加できない子どもたちに対して、費用の一部または全額を減免します。



BAPY基金利用者の声

体操教室を通して成長

体操教室参加者(小学1年生)の保護者より

「体操は一生ずっと続けるんだ!」というくらい楽しく一生懸命通うことができています。教えてもらったストレッチをお風呂上りにしたり、日常生活の中でも体操を意識することが多く、ワッペンをもらえたときには、ますますやる気を出して取り組んでいました。小学校に入学した頃はなかなか生活に慣れずに、気持ち不安定な時期もありましたが、体操教室を楽しみに、乗り越えることができたと思います。お友だちとのコミュニケーションも少しずつとれるようになり、成長を感じています。

自主性を大切にするプログラム

子ども英会話スクール参加者(小学2年生)の保護者より

プログラムに参加して2年になります。初年度に比べると様々なところで成長したなと感心することがあります。学ぶ意欲や向上心がみられ、プログラムで学習したことを家庭でしっかりアウトプットしてくれるようになりました。生活面では他人の意見を尊重しながら自分の意見もハッキリ言えるようになりました。個人を尊重し自主性を大切にしてくれているプログラムだからこそ、本人も伸び伸びと楽しんで学んでいるのだと感じています。参加できていることに感謝しています。

サマースクールでたくさんの経験

サマースクール参加者(小学3年生)の保護者より

2022年からBAPY基金を利用して、YMCAのスポーツスクール等に参加しています。今年は夏休みのお預かり「サマースクール」にも参加しました。クラスの初日、本人は嫌々での参加でしたが、帰宅時の息子はニコニコと「楽しかった!早く明日も行きたい!」と言っていました。それから毎日、楽しかったことや、新しくできた友だちとのことをたくさん話してくれました。ひとり親の私としては、学校の長期休暇に息子を一人で家に置いておくのではなく、今回のようなクラスに参加してたくさんの経験ができたことに、本当に感謝しています。

YMCAで学ぶ 「人を助ける」ということ

水泳教室参加者(中学3年生)の保護者より

我が家はひとり親家庭で二人の子どもを育てており、次男は2歳からYMCAに通っています。小学1年生でおよげるようになり、楽しさが分かってからは「YMCAに行きたくない」ということは一度もなく、体力増進と健康の源になっています。水泳を継続していることは本人の自信にもつながっているようです。時間が合う時には、YMCA年末募金の街頭募金活動にも参加しています。YMCAで人を助けることの難しさや、地道な活動の大切さも学んでいます。

事業報告 Business Report | Public Interest Incorporated Foundation

公益財団法人 熊本YMCA

ウエルネス事業部はこどもスポーツスクールや大人のウエルネスなどを展開。野外活動クラブでは、中学生～高校生を対象とし、各クラスのジュニアリーダーとしても関わるFUSIONクラスが発足しました。

こども英会話スクールや大人のための語学教室を行うグローバル事業部では、全国の中学生・高校生が参加するEnglish Camp for Global Leadership (ECGL) に熊本YMCAから5名が参加。みなみグローバルコミュニティセンターのぶどうの木幼稚園は「ぶどうの木体育英語幼稚園」と名前を変え、これまで以上に、体育と英語に特化した幼稚園として新たな歩みを始めました。

また、ユースボランティアリーダーが中心となり、不定期な活動から始まった不登校児童・生徒支援プログラム「ぷらっとほーむ」は、2024年度から平日10時から19時までのプログラムとなりました。

公益協働事業では、リフレッシュおむた、御船町スポーツセンター、益城町総合運動公園の運営を継続しました。

プログラム参加者(2025年3月時点)

| 部門\拠点 | 本館 | みなみ | なみなみファミリー | むさし | 東部 | 合計 | |
|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----|-------|-------|
| ウエルネス | ウエルネス こども | 19 | 989 | 1,181 | 555 | 5 | 2,749 |
| | ウエルネス 成人 | — | 449 | 140 | — | — | 589 |
| | 野外 | 72 | — | — | — | — | 72 |
| グローバル | こどもえいご | 84 | 193 | 104 | 101 | 4 | 486 |
| | 成人語学 | 99 | 8 | — | 9 | — | 116 |
| 発達障がい支援 | — | 15 | 15 | — | — | 30 | |
| アフタースクール等 | — | 3 | 38 | — | 19 | 60 | |
| チャイルドケア | — | 59 | — | — | — | 59 | |
| 合計 | 274 | 1,716 | 1,478 | 665 | 28 | 4,161 | |



2024年10月にみなみグローバルコミュニティセンターで開催したスイミングフェスティバル



2025年3月に開催したダンスフェスティバルにヒップホップ教室やチアダンス教室に通うこどもたちが参加



野外活動クラブでACTIVEクラスのメンバーに寝袋の畳み方を教えるFUSIONクラスのメンバー



グループに分かれてプレゼンテーション発表の準備をするECGLの参加者たち



ぶどうの木体育英語幼稚園の入園式で英語講師が挨拶



今日の予定や献立を考えてプレゼンテーションをするぷらっとほーむのこどもたち

事業報告 Business Report | Incorporated Educational Institution

学校法人 熊本YMCA学園

熊本YMCA学院本科では「専門教育」、「キャリア教育」、「人間教育」の3つの教育方針のもと、建築科、ホテル観光科、医療秘書科、健康スポーツ科、こども保育科の5学科で学生たちが学びました。日本語科には2024年10月時点で11カ国の留学生が所属。通信制の社会福祉学科と精神保健福祉学科では社会人らが福祉専門職の資格取得を目指しました。

YMCA水前寺幼稚園では農業体験、YMCA熊本五福幼稚園は園内での野菜づくりなど、子どもたちが様々な経験を通じて成長。また、放課後等デイサービス「自由なイルカたち」、児童発達支援事業所「YMCAりとするてっぷ」が子どもたちの療育に取り組みました。

在籍者(2025年3月時点)

| 部門\拠点 | 本館 | 水前寺幼稚園 | 熊本五福幼稚園 | 合計 |
|-------------|-----|--------|---------|-----|
| 幼稚園 | — | 76 | 63 | 139 |
| 幼稚園 収益プログラム | — | 39 | 11 | 50 |
| 専門学校(全日制) | 212 | — | — | 212 |
| 日本語学校 | 126 | — | — | 126 |
| 専門学校(通信制) | 88 | — | — | 88 |
| アスリートクラブ | 53 | — | — | 53 |
| 学研教室 | 14 | — | 3 | 17 |
| 放課後等デイサービス | 19 | — | — | 19 |
| 児童発達支援 | — | — | 18 | 18 |
| 合計 | 512 | 115 | 95 | 722 |



熊本YMCA学院がテコンドーで日本人唯一のオリンピックメダリストである岡本依子さんを迎え、「夢は叶う!」をテーマに講演会を開催した



熊本YMCA学院の建築科が卒業発表会を開催。学生らが建築設計やインテリアデザインなどを提案した



熊本YMCA学院のホテル観光科が模擬結婚式を開催。学生らがホテルスタッフに扮してサービスを行った



熊本YMCA学院の医療秘書科の2年生が日本医師会医療秘書認定試験に全員合格。卒業式で認定書が授与された



熊本YMCA学院日本語科の学習成果発表会では、個人スピーチやグループでのプレゼンテーションが発表された



水前寺幼稚園で始まった「未来の農業体験プログラム」で園児たちがイチゴの授粉作業を体験

事業報告 Business Report | Social Welfare Service Corporation, Limited Company

社会福祉法人 熊本YMCA福祉会

阿蘇市の尾ヶ石保育園、赤水保育園、永草保育園、黒川保育園では各園での保育のほか、あそまつりや街頭募金活動、4園合同の英語発表会など様々な活動を行いました。



日頃の感謝を伝える「花の日」に警察署を訪問した永草保育園の園児たち



YMCA年末募金では街頭募金活動で園児たちが募金を呼びかけた

在園児(2025年3月時点)

| 部門\拠点 | 尾ヶ石 保育園 | 赤水 保育園 | 永草 保育園 | 黒川 保育園 | 合計 |
|-------|------------|-----------|-----------|-----------|-----|
| 保育園 | 14 | 63 | 32 | 74 | 183 |
| 合計 | 14 | 63 | 32 | 74 | 183 |



4園合同で開催したYMCAあそまつり



年間を通じた英語プログラムの成果を発表する英語発表会を開催

有限会社ユース・コーポレーション

旅行業、物品販売を行う有限会社ユース・コーポレーションは熊本市中央区新町から帯山の熊本YMCA東部グローバルコミュニティプラザに移転しました。熊本YMCAで行うキャンプの企画・実施、会員対象のユニフォーム販売を行うほか、「太公望フィッシングツアー 2024」「晩秋のサイクリングツアー 2024」、「富士山の雄大な自然と神秘的溶岩洞窟を訪ねる4日間の旅」等の企画ツアーも実施しました。



家族連れなど12名が参加した「太公望フィッシングツアー」



「富士山の雄大な自然と神秘的溶岩洞窟を訪ねる旅」の参加者たち

活動実績

Year in Review 2024-2025

| | | |
|-------|------------|---|
| 2024年 | 4月 3日 | YMCAフィランソロピー協会主催「新入社員ボランティア入門」を開催 |
| | 4月19日～20日 | 駐日東ティモール民主共和国特命全権大使のイリディオ・シメネス・ダ・コスタさんが熊本YMCAを訪問 |
| | 5月 8日 | YMCAフィランソロピー協会主催セミナー「海外にルーツをもつ人材の採用に際して私たちが考えておくべきこと」を開催 |
| | 5月24日 | 2024年度熊本YMCA定時会員大会を開催 |
| | 6月 2日 | 熊本YMCAユースボランティアリーダー入会式を開催 |
| | 6月 7日 | YMCAフィランソロピー協会主催「第19回チャリティボウリング大会」を開催 |
| | 6月16日・22日 | 水泳に苦手意識のある近隣小学校の児童延べ150名をYMCAのプールへ招待し、特別プログラム「みんな泳げる25m運動」を実施 |
| | 7月30日～31日 | 熊本県立盲学校の児童を対象に「第48回ポニーキャンプ」を実施 |
| | 8月 3日 | テコンドーで日本人唯一のオリンピックメダリストである岡本依子さんを迎え、「夢は叶う!」をテーマに講演会を開催 |
| | 8月 4日～8日 | 広島YMCA主催「第43回国際青少年平和セミナー」に高校生、専門学校生ら5名が参加 |
| | 8月 7日 | YMCAフィランソロピー協会が児童養護施設の子どもの仕事の観や職業観を育むことを目的に「おしごとカフェ」を開催 |
| | 8月10日～12日 | 被災児支援キャンプ「第10回あそぼうキャンプ」を開催 |
| | 9月10日 | 熊本YMCA学院日本語科がスピーチ大会を開催 |
| | 10月 6日 | 能登半島豪雨災害支援のための街頭募金活動を実施 |
| | 10月12日～13日 | こども英会話スクールが宇宙や地球をテーマに「Star kids English camp」を実施 |
| | 10月20日 | 熊本YMCAスイミングフェスティバルを開催 |
| | 10月24日 | 視覚に障がいのある青少年に国際交流の場を提供する第36回日韓青少年交流プログラムを実施 |
| | 10月26日 | 第30回熊本YMCA大邱YMCA役員協議会を実施 |
| | 10月25日～28日 | 石川県輪島市の能登半島豪雨災害支援ボランティアに熊本YMCA学院の学生6名と熊本YMCA職員2名を派遣 |
| | 11月 1日 | 2024年度YMCA年末募金をスタート |
| | 11月 9日 | 熊本YWCA・YMCA合同祈祷会を開催 |
| | 11月10日 | 第41回熊本YMCAサッカーフェスティバルを開催 |
| | 11月17日 | 第9回熊本YMCAインターナショナル・チャリティーランを実施 |
| | 11月24日 | 第38回熊本YMCAジュニア体操フェスティバルを開催 |
| | 12月 7日 | 熊本YMCAが事務局を務める市民クリスマス2024実行委員会主催のチャリティコンサートを実施 |
| | 11月23日 | みなみグローバルコミュニティセンター開設20周年記念式典を開催 |
| | 12月26日～28日 | 全国の中学生・高校生が参加するEnglish Camp for Global Leadership (ECGL) に熊本YMCAから5名が参加 |
| 2025年 | 1月30日 | 熊本YMCAが事務局を務める実行委員会が主催する熊本バンド結盟149周年記念早天祈祷会を開催 |
| | 2月15日 | 赤水、尾ヶ石、永草、黒川4保育園合同の英語発表会を開催 |
| | 2月28日 | YMCA年末募金の感謝会を開催 |
| | 3月 4日 | 熊本YMCA学院日本語科が学習成果発表会を開催 |
| | 3月 9日 | 第9回熊本YMCAダンスフェスティバルを開催 |
| | 3月22日 | 総主事が光永尚生さんから伊藤真太郎さんに交代することに伴い、熊本YMCA総主事就任式を開催 |

熊本YMCA HP・SNS

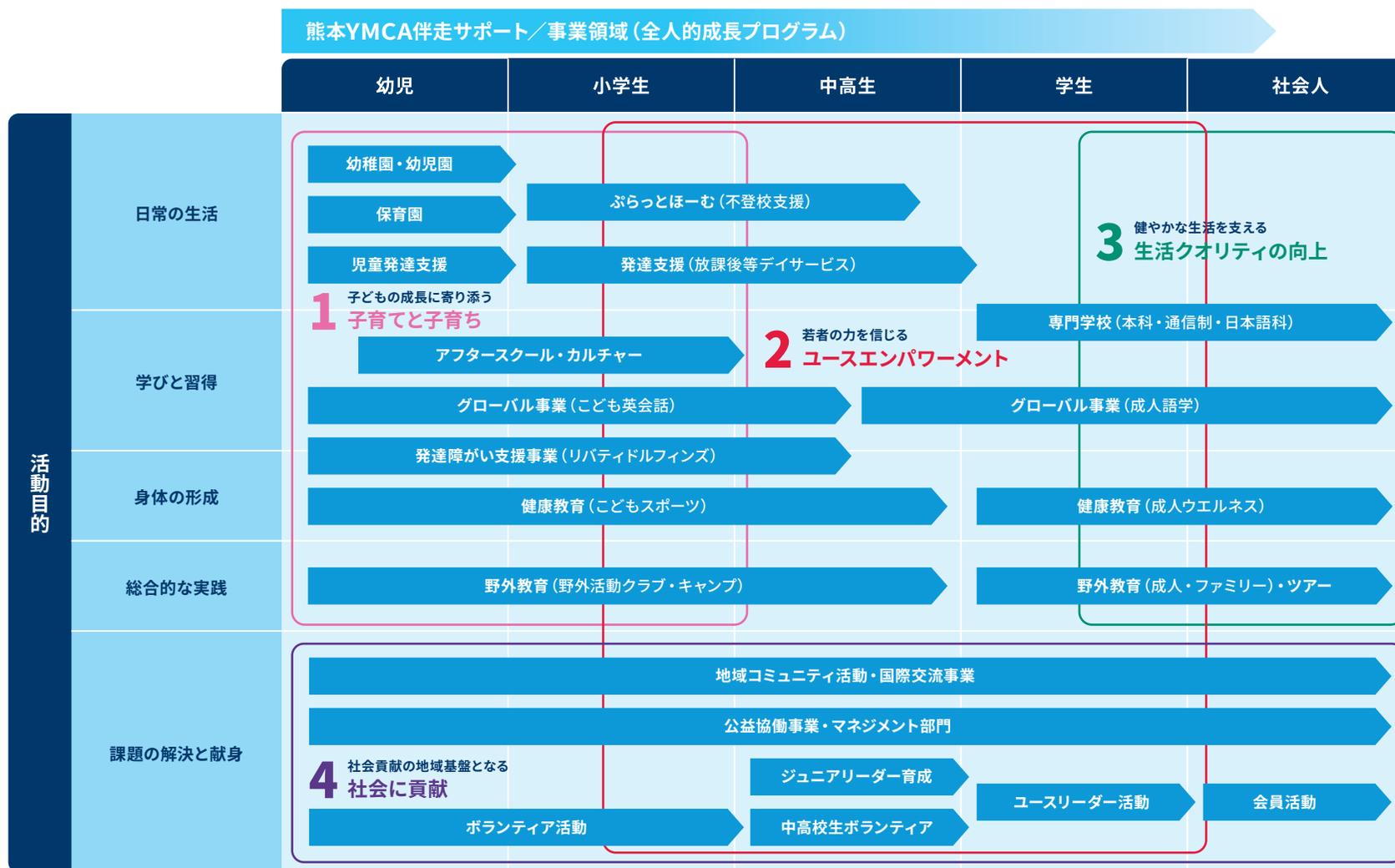
Homepage and SNS QR Code

熊本YMCA
ホームページ熊本YMCA
LINE熊本YMCA
YouTube熊本YMCA
Facebookウエルネス事業部
Instagramグローバル事業部
Instagram野外教育
Instagram阿蘇キャンプ
FacebookYMCA学院
InstagramYMCA学院日本語科
Facebookぶらっとほーむ
Instagram熊本YMCAオールリーダー会
Instagram

YMCAの全人的成長プログラム YMCA's Holistic Education Programs in Japan

YMCAブランドの約束と実行をさらに結びつけるために

熊本YMCAの多岐にわたる活動を、4つの領域と5つの目的（「日常生活」ほか）で整理し、私たちの活動を一覧にしました。

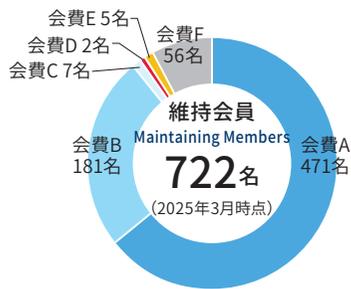


概況・統計 Statistics and Association Overview

世界のYMCA YMCAs around the world



熊本YMCA The Kumamoto YMCA



ワイズメンズクラブ国際協会 Y's Men International 2025年3月時点

| | | | |
|------------------|-----|-------------------|-----|
| 熊本ワイズメンズクラブ | 19名 | 熊本ひがしワイズメンズクラブ | 18名 |
| 熊本ジェーンズワイズメンズクラブ | 31名 | 阿蘇ワイズメンズクラブ | 14名 |
| 八代ワイズメンズクラブ | 9名 | 熊本にしワイズメンズクラブ | 22名 |
| 熊本むさしワイズメンズクラブ | 18名 | 熊本Nスピリットワイズメンズクラブ | 14名 |
| 熊本みなみワイズメンズクラブ | 22名 | 熊本水前寺ワイズメンズクラブ | 10名 |

ワイズメンズクラブ国際協会:YMCAの支援や協働を行う世界規模の奉仕団体です。インターナショナル・チャリティーランをはじめ、災害支援、募金活動でYMCAと地域を支えています。

創立 Founding

| | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|
| 世界YMCA 181年 (1844-2025年) | 日本YMCA 145年 (1880-2025年) | 熊本YMCA 77年 (1948-2025年) |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|

拠点数 Centers

15 拠点
(2025年3月時点)



- ① 本館／グローバルコミュニティセンター
- ② 熊本YMCA学院
- ③ 放課後等デイサービスYMCA自由なイルカたち
- ④ みなみグローバルコミュニティセンター
- ⑤ ぶどうの木体育英語幼児園
- ⑥ ながみねファミリーセンター
- ⑦ むさしグローバルコミュニティセンター
- ⑧ 東部グローバルコミュニティプラザ
- ⑨ 不登校児童・生徒支援プログラム ぶらっとほーむ
- ⑩ 阿蘇キャンプ
- ⑪ 大牟田市立多目的活動施設 リフレスおおむた(指定管理施設)
- ⑫ 御船町スポーツセンター(指定管理施設)
- ⑬ 益城町総合運動公園(指定管理施設)
- ⑭ YMCA水前寺幼稚園
- ⑮ YMCA熊本五福幼稚園
- ⑯ YMCA熊本五福幼稚園
- ⑰ 児童発達支援事業所 YMCAりとするてっぶ
- ⑱ YMCA尾ヶ石保育園
- ⑲ YMCA赤水保育園
- ⑳ YMCA永草保育園
- ㉑ YMCA黒川保育園

熊本YMCA役員・委員報告

Board and Committee Members

◎委員長 ○副委員長 ◇担当職員

2025年3月時点

| | | | | | | |
|---------------------|-----------------------------------|------------------------------------|---------------------------|--------------------------|----------------|----------------|
| 本館/GCC運営委員会 | ◎西 章男 中尾 桂子 和田 修一 | ○生駒 春美 林田 博文 (守田 富男) | 岡田 茂美 福田 稔 ◇藤川登士郎 | 小山 徹 北條 将人 | 金澤 知徳 村田紀美子 | 木山 彫子 山本 明子 |
| みなみGCC運営委員会 | ◎麻生 尚哉 後藤 慶次 村上 博 | ○岩永 福子 杉野 茂人 米倉 容子 | ○森 博之 時任幸四郎 ◇丸目 陽子 | 岩瀬 英次 中村 邦雄 | 岩本 守弘 中村 陽志 | 内村 忠生 藤元 俊輔 |
| ながみねFC運営委員会 | ◎本堀 秀一 菅 正康 ◇木村 成寿 | ○吉松 裕藏 竹本 雄一 | 石橋 綾 馬場 淑之 | 小川祐一郎 平山 俊生 | 柏原 芳則 田上 裕章 | 門永 充弘 横田 博 |
| むさしGCC運営委員会 | ◎両角 彰則 斐 東烈 | 入佐 孝三 山部 裕輝 | 桑原純一郎 来海 恵子 ◇辻 健太郎 | 最相 博子 ◇辻 健太郎 | 田北康一郎 | 田上 正 |
| 東部GCP運営委員会 | ◎三上 充 | 西田 晶子 | 眞西 優治 ◇伊藤眞太郎 | | | |
| 阿蘇運営委員会 | ◎吉村 千恵 竹原 憲朗 ◇本田奈緒子 | ○篠崎 泰子 藤本猪智郎 | 上村 文美 藤本 義隆 | 内村 優 松岡 省吾 | 梅井 俊夫 松田 誠一 | 五嶋 義行 武藤 興紀 |
| 幼稚園運営委員会 | ◎本田 節子 東 菜保子 | ○岩本 悟 三上 充 | 伊藤 七海 水元 裕二 | 上野美恵子 山下 和美 ◇岡山富士男 | 白木 尚登 | 長澤 牧人 |
| 学校運営委員会 | ◎吉岡 久美 俵 哲 ◇中村賢次郎 ◇加藤 泰文 | 荒木由起子 ◇中村賢次郎 | 有吉 亮 ◇加藤 泰文 | 岩切 和子 | 上村眞智子 | 亀浦 正行 |
| リソース推進委員会 | ◎佐藤 通彦 森嶋 道 | 秋根 年子 山田 芳之 ◇大塚 永幸 ◇時本 紀子 | 今村 秀夫 ◇大塚 永幸 ◇時本 紀子 | 大崎 隆義 | 田中 俊夫 | 藤田 香織 |
| インターナショナル委員会 | ◎前田香代子 (吉本貞一郎) | 木下慎太郎 | 坂本 美穂 | 立野 泰博 | 藤井 資子 | 棟方 信彦 |

熊本YMCA常議員

| | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 麻生 尚哉 | 伊藤 七海 | 岩永 福子 | 上村 文美 | 上村眞智子 |
| 小川祐一郎 | 佐藤 通彦 | 田中 俊夫 | 田上 正 | 長澤 牧人 |
| 西 章男 | 藤田 香織 | 北條 将人 | 本田 節子 | 本堀 秀一 |
| 前田香代子 | 松田 誠一 | 眞西 優治 | 三上 充 | 森嶋 道 |
| 森田 哲史 | 守田 富男 | 両角 彰則 | 吉岡 久美 | 吉松 裕藏 |
| 吉村 千恵 | 吉本貞一郎 | 光永 尚生 | | |

公益財団法人 熊本YMCA

| | | | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 理事長 | 光永 尚生 | | | |
| 理事 | 大久保和生 | 大塚 永幸 | 田上 正 | 西 章男 |
| | 守田 富男 | 吉本貞一郎 | | |
| 監事 | 田中 俊夫 | 藤田 香織 | | |
| 評議員 | 麻生 尚哉 | 岩永 福子 | 上村眞智子 | 長澤 牧人 |
| | 本堀 秀一 | 松田 誠一 | 三上 充 | 森嶋 道 |
| | | | | 本田 節子 |
| | | | | 両角 彰則 |

学校法人 熊本YMCA学園

| | | | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 理事長 | 光永 尚生 | | | |
| 理事 | 岡山富士男 | 北條 将人 | 前田香代子 | 吉村 千恵 |
| | 吉岡 久美 | 吉松 裕藏 | | 吉本貞一郎 |
| 監事 | 伊藤 七海 | 上村 文美 | 牛嶋加佐喜 | 加藤 泰文 |
| 評議員 | 佐藤 通彦 | 中村賢次郎 | 北條 将人 | 前田香代子 |
| | 宮本 昌宣 | 吉村 千恵 | 吉本貞一郎 | 熊本 哲朗 |
| | | | | 光永 尚生 |

社会福祉法人 熊本YMCA福祉会

| | | | | |
|------------|-------|-------|-------|-------|
| 理事長 | 光永 尚生 | | | |
| 理事 | 井野 孝文 | 岩下 裕一 | 椎葉 朋子 | |
| | 高橋 壘 | 二子石真弓 | 宮本 誠一 | |
| 監事 | 桑本 ゆき | 藤本猪智郎 | | |
| 評議員 | 五嶋 義行 | 佐藤かおり | 西本 貴志 | 畑本 芳輝 |
| | 松村由紀子 | 森 あい | 山口 貴生 | 脇 澄夫 |



みつかる。つながる。よくなっていく。